枚方市都市景観基本計画の基本方針

◆都市景観基本計画改訂の前提

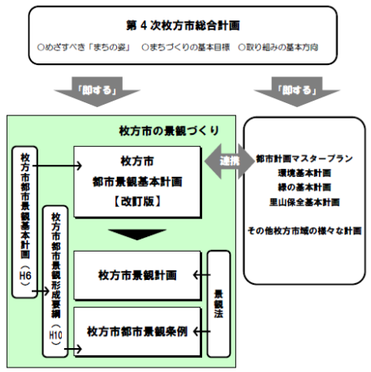
都市景観基本計画とは？

■役割
- ○枚方市の景観まちづくりの基本的な目標
- ○「景観法」に基づく「景観計画」「景観条例」の上位計画

■背景
- ○H6 :「枚方市都市景観基本計画」策定。18 年が経過。
- ○H16 :「景観法」が施行。新しい枠組みが準備され強制力を伴う法的な規制が可能に。
- ○H21 :「第４次枚方市総合計画 第２期基本計画」策定。
- ○H23 :「枚方市都市計画マスタープラン」改定。

■改訂方針
- ○現行の都市景観基本計画に沿って進めてきた取り組みを継承する。
- ○新たな課題に対応する検討を行う。
- ○将来に向けた景観形成の推進の仕組みを整える。
- ○都市景観基本計画改訂の初期段階から市民の意見を取り入れる。
- ○まちづくりに係わる上位計画との連携を図る。

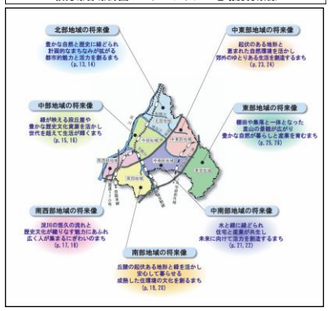
都市景観基本計画の位置付け



■第４次枚方市総合計画
- ○めざすべき「まちの姿」:『出会い・学びあい・支えあい、生きる喜びを創るまち、枚方』
- ○まちづくりの基本目標と取り組みの基本的方向を掲げ、それらに沿った施策を展開。
- ○景観形成は都市の潤いや快適性を高め、魅力を向上させていく重要な役割を担う。

■枚方市都市計画マスタープラン
- ○都市づくりのコンセプト
  『人と自然がいきづく
  心ときめく都市』
- ○実現に向けた方向
  「都市骨格を活かしたまちづくり」
  「土地利用の方針」
  「生活環境の質の高いまちづくり」
  「安全安心のまちづくり」
  「環境にやさしいまちづくり」

枚方市都市計画マスタープラン　地域別将来像



◆枚方市の景観特性と課題

枚方市の景観の特性

■枚方市の都市構造

■自然景観特性
- ○淀川は広大な空間を有し、河川敷には自然が残る。
- ○淀川、天野川、穂谷川、船橋川の堤防や市内の高い場所からは北摂の山並や生駒山系への壮大な眺望を望める。
- ○丘陵斜面地には多くの樹林が見られる。
- ○市街地に囲まれて点在する田園や灌漑用のため池は重要なオープンスペース。
- ○東部山地は市街地の背景を演出し、山間部では、棚田が良好な山里景観を呈する。

■歴史景観特性
- ○遺跡や史跡が広く分布し、特別史跡の百済寺跡や牧野車塚古墳などは現在公園として活用。
- ○古くからの農家集落が数多く存在。低地部に残る段蔵や山地集落の大和棟などは当時の生活を伝える。
- ○集落内の社寺の豊かな樹林は地域のランドマーク。
- ○枚方宿や高野街道沿いの出屋敷集落などの歴史的な家並みが残る。
- ○枚方宿の町並みは地域固有の景観として保全され、観光資源としても注目。

■市街地景観特性
- ○住宅地は、西部の淀川低地から中部丘陵地、東部丘陵地にかけて広く分布。
- ○香里団地や樟葉駅周辺の住宅地、北山地区、津田地区等の大規模な計画的開発地は、緑豊かなゆとりあるまちなみを形成。
- ○京阪沿線には昭和 40 年代に建設された比較的小規模な住宅地、田園地帯には古くからの農家集落が点在。
- ○商業・業務地は枚方市駅や樟葉駅等の駅前と国道 1 号などの主要な幹線道路沿道に形成。
- ○大規模な工業地が国道 1 号沿道に集中。

景観形成の課題

■自然景観と歴史的景観の課題
- ○淀川や生駒山系の山々を枚方を代表する景観資源として守り、活かしていくことが課題。
- ○農地やため池、社寺林などの身近な自然を景観資源、身近な自然とのふれあいの場、レクリエーション空間として活かしていくことが重要。
- ○地域の歴史的な景観をまちの個性として有効に活かしたまちづくりを進め、枚方市の魅力を高めることが必要。

■地域環境の課題
- ○公共空間や民有地の緑化の充実がうるおいと安らぎのある景観形成を進める上で重要。
- ○地域の個性を活かした良好なまちなみ景観の形成が必要。
- ○景観阻害要因の除去・改善と市民の景観に対する意識とマナーの向上が必要。
- ○ユニバーサルデザインに配慮した、建築物や道路、公園などの公共施設の整備が必要。

■都市的景観の課題
- ○枚方市駅周辺では、枚方市駅周辺再整備ビジョンなどを踏まえ、41 万都市としての風格とにぎわいのある都市景観を創っていくことが必要。
- ○地域の生活拠点となる快適で魅力ある商業空間の形成や沿道立地型商業施設の景観の向上が必要。
- ○文化活動の充実により、景観への関心の向上や活性化の推進につなげる事が必要。
- ○道路緑化や舗装などのデザイン等の工夫により、歩行者が快適に楽しく歩ける道路づくりを行うことが必要。

◆景観づくりの目標・方針

景観づくりの目標

景観づくりの目標

『枚方の新たな魅力をつくる』

～ 自然と歴史と人を紡ぐひらかたの新しい景観づくり ～

市民・事業者・行政が連携した多面的な取り組みによる
優れた景観の保全・育成・創出

魅力づくりのテーマと基本方針

「豊かな自然や歴史」をまもる
- ○枚方を象徴する自然風景や市街地に残る自然資源を守り活かす
- ○歴史的景観を守り、まちの記憶・地域の個性として活かす

「快適な地域環境」をはぐくむ
- ○自然が息づき、人々があたたかい“ぬくもり”を感じあえる場を創る
- ○個性を活かしたゆとりある美しいまちなみを育む
- ○まちの景観を乱すものを取り除く
- ○高齢者や障害者にやさしい地域環境を育む

「都市的な魅力」をつくる
- ○にぎわいと風格のある都市核を創る
- ○生活を楽しみ文化に触れる地域の拠点をつくり育てる
- ○四季のいろあいや一日の時のうつろいに変化する表情を楽しむ都市を演出する

◆類型別 景観形成の方向

■都市の骨格景観
- ○ターミナル拠点景観：基盤整備の充実、地域の核となる場づくり
- ○沿道景観：骨格にふさわしい安全で楽しみのある景観
- ○河川景観：身近に水に親しみ自然とふれあえる空間
- ○眺望景観：優れた眺望景観や眺望軸・眺望点、ランドマークの保全・整備

■地区タイプ
- ○緑地景観：緑地の保全・修復、緑豊かなまちづくり
- ○歴史景観：歴史的たたずまいを地域の個性として保全し、貴重な景観資源として活用
- ○住宅地景観：地域の個性を活かした安全・快適なゆとりある住環境
- ○商業・業務地景観：活力とにぎわいに溢れた快適な環境の創造
  まちの顔としてまとまりのある景観
- ○工業地景観：周辺地域と調和のとれた、快適でうるおいのある環境